



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 ブックオフコーポレーション株式会社  
コード番号 3313 URL <http://www.bookoff.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松下 展千

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 堀内 康隆

TEL 042-750-8588

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,738	1.8	1,441	98.7	1,604	70.1	783	—
23年3月期第2四半期	36,090	4.3	725	△38.4	943	△29.6	△320	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 820百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △390百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	43.11	—
23年3月期第2四半期	△17.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,748	13,259	36.1
23年3月期	39,107	12,738	32.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,259百万円 23年3月期 12,738百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	22.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	3.6	3,400	23.7	3,700	17.2	1,700	199.2	93.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	19,473,200 株	23年3月期	19,473,200 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,228,482 株	23年3月期	1,358,682 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	18,172,930 株	23年3月期2Q	17,944,918 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であります。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項に関しては【添付資料】P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは「ご家庭で不要となったものを、新しい持ち主のために役立てる」という「リユース業」を中核事業として、書籍やCD、子供用品、洋服やスポーツ用品など様々なジャンルのリユースに取り組んでまいりました。

今後も引き続き『ものを捨てたくない人が、捨てない生活をするためのインフラとしての役割を果たすブックオフ』＝『捨てない人のブックオフ』を事業ミッションとして、様々なもののリユースを通じて循環型社会の実現に取り組んでまいります。

このような経営方針の下、「BOOKOFF」を中心とした総合リユースへの事業拡大を目指し、大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」と「BOOKOFF」都市型大型店を当社グループの中核パッケージとして出店促進を図っており、当第2四半期連結累計期間において、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」を3館出店しました。

経営課題としている収益力向上に対して、粗利率向上と販売費及び一般管理費の削減を進めてまいりました。

粗利率は、前連結会計年度に引き続き商品別の需給バランスを考慮した販売・買取価格の調整、在庫水準の見直しを行うことで向上いたしました。

販売費及び一般管理費は、前連結会計年度に行った全社的な取り組みによるコスト削減効果に加え、店舗運営コストを中心に削減いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高36,738百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益1,441百万円（前年同四半期比98.7%増）、経常利益1,604百万円（前年同四半期比70.1%増）、四半期純利益783百万円（前年同四半期は四半期純損失320百万円）となりました。

四半期純利益が前年同四半期に比べ大きく増加した要因は、経常利益の増加に加え、前年同四半期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額626百万円の特別損失がなくなったことによるものです。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

## (ブックオフ事業)

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高25,634百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店9店舗、FC加盟店7店舗となりました（閉店はグループ直営店8店舗、FC加盟店9店舗）。

販売単価の見直しを行ったCDやDVDの売上減少が影響し、既存店売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、新規出店やFC加盟店からの店舗譲受け、またオンライン事業の売上増加が寄与し、増収となりました。

前連結会計年度よりCDやDVDについて需給バランスを考慮した販売・買取価格の調整、在庫水準の見直しを重点施策として取り組んできた結果、前年同四半期に比べ粗利率は増加しました。

## (リユース事業)

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高4,933百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店6店舗となりました（閉店はグループ直営店5店舗、FC加盟店9店舗）。このうち、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」内への出店は5店舗となりました。

前年行ったセール等の反動もあり既存店売上高は前年同四半期に比べ同水準となりましたが、新規出店による売上が寄与し、増収となりました。

売上構成の半数を占める衣料品に注力し、需給バランスを考慮した販売・買取価格の調整、在庫水準の見直しを重点施策として取り組んできた結果、前年同四半期に比べ粗利率は増加しました。

## (パッケージメディア事業)

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高5,949百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店はありませんでした（閉店はグループ直営店1店舗）。

「TSUTAYA」店舗は競合環境が厳しい中、売上は前年同四半期に比べ減少しました。新刊書店事業は震災以降既存店売上が減少したことと、不採算店舗の閉鎖を進めたことにより、売上は前年同四半期に比べ減少しました。

## (その他)

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高220百万円（前年同四半期比22.0%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店はありませんでした（閉店はグループ直営店3店舗）。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①当第2四半期連結会計期間末における資産・負債・純資産の状況

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は17,129百万円(前連結会計年度末は19,333百万円)となり、2,204百万円減少しました。前連結会計年度において、平成23年3月に発生した「東日本大震災」の発生を受け、当面の経営の安定性を確保するため、3月下旬に約20億円を臨時で金融機関より調達していましたが、業況の安定化に伴い返済した結果、現金及び預金が1,975百万円減少したことが主な要因です。

## (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は19,619百万円(前連結会計年度末は19,773百万円)となり、154百万円減少しました。出店投資等により有形固定資産が110百万円増加した一方で、ソフトウェアの償却や除却等により無形固定資産が166百万円減少し、BOOKOFF KOREA INC.を連結子会社化したこと等により投資その他の資産が98百万円減少したことが主な要因です。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は23,489百万円(前連結会計年度末は26,369百万円)となり、2,879百万円減少しました。長短借入金、未払法人税等が577百万円減少したことが主な要因です。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は13,259百万円(前連結会計年度末は12,738百万円)となり、521百万円増加しました。剰余金の配当を行った一方、四半期純利益が計上されたことにより利益剰余金が395百万円増加したこと、また「ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託」より当社従業員持株会への株式売却が進んだことにより自己株式が114百万円減少したことが主な要因です。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ1,950百万円減少し、4,554百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1,615百万円(前年同四半期は300百万円)となりました。これは税金等調整前四半期純利益1,463百万円や減価償却費994百万円、のれん償却181百万円等により資金が増加した一方で、法人税等の支払額1,100百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は571百万円(前年同四半期は977百万円)となりました。これは閉店等による差入保証金の回収による収入231百万円に対し、新規出店等に伴う有形固定資産の取得307百万円及び差入保証金の差入271百万円、POSシステムへの追加投資等による無形固定資産の取得71百万円、FC加盟店からの店舗譲受けによる支出76百万円が主な要因です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は3,000百万円(前年同四半期は373百万円)減少しました。これは長短借入金の純額が返済により2,021百万円減少したことに加え、長期未払金やリース債務の返済による支出670百万円、配当金の支払による支出398百万円が主な要因です。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月10日公表の平成24年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成23年11月2日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,631,936	4,656,105
受取手形及び売掛金	875,576	878,706
商品	9,451,911	9,514,597
その他	2,374,861	2,080,332
貸倒引当金	△315	△301
流動資産合計	19,333,970	17,129,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,209,427	5,243,658
リース資産(純額)	1,577,820	1,625,816
その他(純額)	618,913	647,249
有形固定資産合計	7,406,161	7,516,724
無形固定資産		
のれん	1,271,044	1,289,488
その他	1,272,368	1,087,751
無形固定資産合計	2,543,413	2,377,239
投資その他の資産		
差入保証金	8,294,612	8,349,258
その他	1,629,191	1,470,818
貸倒引当金	△99,734	△94,603
投資その他の資産合計	9,824,068	9,725,472
固定資産合計	19,773,643	19,619,436
資産合計	39,107,613	36,748,877

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,090,600	991,976
短期借入金	6,446,000	5,070,000
1年内返済予定の長期借入金	4,062,415	3,429,610
リース債務	336,283	340,886
未払法人税等	1,180,091	602,727
賞与引当金	258,340	282,050
店舗閉鎖損失引当金	44,809	53,056
災害損失引当金	106,975	—
その他	3,106,020	3,057,276
流動負債合計	16,631,537	13,827,583
固定負債		
長期借入金	5,877,050	5,864,127
資産除去債務	1,135,553	1,183,466
リース債務	1,248,170	1,271,069
負ののれん	70,238	23,412
その他	1,407,057	1,320,059
固定負債合計	9,738,071	9,662,135
負債合計	26,369,608	23,489,719
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,564,294	2,564,294
資本剰余金	3,098,903	3,098,903
利益剰余金	8,190,662	8,585,982
自己株式	△916,007	△801,170
株主資本合計	12,937,852	13,448,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,199	△4,067
為替換算調整勘定	△189,647	△184,783
その他の包括利益累計額合計	△199,847	△188,850
純資産合計	12,738,005	13,259,158
負債純資産合計	39,107,613	36,748,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	36,090,393	36,738,314
売上原価	15,755,247	15,676,364
売上総利益	20,335,145	21,061,950
販売費及び一般管理費	19,609,551	19,620,099
営業利益	725,594	1,441,850
営業外収益		
自動販売機等設置料収入	111,658	101,607
古紙等リサイクル収入	68,204	113,759
負ののれん償却額	46,825	46,825
その他	209,485	112,145
営業外収益合計	436,174	374,338
営業外費用		
支払利息	136,576	129,429
持分法による投資損失	3,116	3,135
為替差損	46,272	33,582
その他	32,525	45,177
営業外費用合計	218,491	211,324
経常利益	943,278	1,604,864
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,100
店舗譲渡益	17,550	—
災害損失引当金戻入額	—	44,925
移転補償金	—	117,053
特別利益合計	17,550	163,079
特別損失		
投資有価証券売却損	7,096	24,547
投資有価証券評価損	4,057	—
関係会社株式評価損	45,923	—
店舗閉鎖損失	19,202	10,023
店舗閉鎖損失引当金繰入額	20,522	51,284
店舗譲渡損失	8,847	—
固定資産除却損	45,598	10,329
減損損失	147,123	151,699
固定資産臨時償却費	39,106	—
リース解約損	80,564	—
災害による損失	—	56,640
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	626,377	—
その他	14,166	—
特別損失合計	1,058,584	304,524
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△97,755	1,463,419
法人税、住民税及び事業税	282,485	501,256
法人税等調整額	△60,201	178,803
法人税等合計	222,284	680,060
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△320,040	783,359
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△320,040	783,359

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△320,040	783,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,620	6,087
為替換算調整勘定	△50,613	30,884
持分法適用会社に対する持分相当額	14	44
その他の包括利益合計	△70,219	37,016
四半期包括利益	△390,259	820,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△390,259	820,376
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△97,755	1,463,419
減価償却費	972,011	994,238
減損損失	147,123	151,699
のれん償却額	112,453	181,446
固定資産臨時償却費	39,106	—
負ののれん償却額	△46,825	△46,825
賞与引当金の増減額(△は減少)	△91,022	23,710
貸倒引当金の増減額(△は減少)	44,246	△3,696
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	21,220	51,284
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△106,975
支払利息	136,576	129,429
持分法による投資損益(△は益)	3,116	3,135
店舗譲渡損益(△は益)	△8,703	—
店舗閉鎖損失	19,202	10,023
固定資産除却損	45,598	10,329
投資有価証券評価損益(△は益)	4,057	—
関係会社株式評価損	45,923	—
移転補償金	—	△117,053
災害損失	—	56,640
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	626,377	—
売上債権の増減額(△は増加)	54,073	△3,407
たな卸資産の増減額(△は増加)	△171,836	△46,084
仕入債務の増減額(△は減少)	△333,930	△99,290
未払金の増減額(△は減少)	△211,210	△12,792
その他	△65,249	139,031
小計	1,244,552	2,778,260
利息及び配当金の受取額	6,249	4,056
利息の支払額	△136,980	△126,428
移転補償金の受取額	—	117,053
災害損失の支払額	—	△77,981
法人税等の支払額	△820,744	△1,100,263
法人税等の還付額	7,526	20,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,603	1,615,069

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△70,911	△50,389
定期預金の払戻による収入	70,861	70,474
有形固定資産の取得による支出	△295,598	△307,363
無形固定資産の取得による支出	△569,646	△71,745
投資有価証券の取得による支出	—	△4,125
差入保証金の差入による支出	△294,986	△271,218
差入保証金の回収による収入	272,484	231,491
店舗譲受による支出	△33,000	△76,995
その他	△56,726	△91,446
投資活動によるキャッシュ・フロー	△977,522	△571,317
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△101,600	△1,376,000
長期借入れによる収入	2,300,000	1,550,000
長期借入金の返済による支出	△1,615,574	△2,195,728
長期未払金の返済による支出	△449,968	△446,881
リース債務の返済による支出	△197,847	△223,589
自己株式の処分による収入	87,306	90,289
自己株式の取得による支出	△36,920	—
配当金の支払額	△358,729	△398,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373,332	△3,000,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,319	△673
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,058,571	△1,957,350
現金及び現金同等物の期首残高	4,711,506	6,505,179
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	63,878	6,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,716,813	4,554,750

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブックオフ 事業	リユース 事業	パッケージ メディア事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,948,417	4,475,123	6,383,745	35,807,286	283,106	36,090,393	—	36,090,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130,134	1,717	5,953	137,805	1,198,681	1,336,487	△1,336,487	—
計	25,078,551	4,476,841	6,389,698	35,945,092	1,481,788	37,426,881	△1,336,487	36,090,393
セグメント利益又は損失(△)	2,091,351	△363,287	△11,279	1,716,784	34,808	1,751,592	△1,025,998	725,594

(注) 1. 「その他」は、「ブックオフ事業」、「リユース事業」、「パッケージメディア事業」に含まれない店舗の運営(婦人服のアウトレットを扱う「Remix Edition」店舗等)及び各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,716,784
「その他」区分の利益	34,808
セグメント間取引消去	△32,116
全社費用(注)	△993,881
四半期連結損益計算書の営業利益	725,594

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては147,123千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「ブックオフ事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、44,035千円であります。

「リユース事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、59,921千円であります。

「パッケージメディア事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、43,166千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブックオフ 事業	リユース 事業	パッケージ メディア事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,634,208	4,933,187	5,949,958	36,517,353	220,961	36,738,314	—	36,738,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	151,870	—	—	151,870	92,111	243,982	△243,982	—
計	25,786,078	4,933,187	5,949,958	36,669,223	313,072	36,982,296	△243,982	36,738,314
セグメント利益又は損失（△）	2,584,335	△156,022	14,700	2,443,013	△37,181	2,405,832	△963,982	1,441,850

(注) 1. 「その他」は、「ブックオフ事業」、「リユース事業」、「パッケージメディア事業」に含まれない店舗の運営（屋内遊具施設を営むチェーン「KID-0-KID」店舗等）及び各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,443,013
「その他」区分の損失	△37,181
全社費用（注）	△963,982
四半期連結損益計算書の営業利益	1,441,850

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては125,119千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「ブックオフ事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、65,227千円であります。

「リユース事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、17,681千円であります。

「パッケージメディア事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、42,210千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。